

平成28年度第1回総合政策審議会会議録（概要）

◇開催日時 平成28年10月20日（木） 午後2時00分～午後4時05分

◇開催場所 烏山庁舎 第2会議室

◇出席者

（審議会委員）中村会長、松本委員、佐藤委員、八木沢委員、久郷委員、両方委員、網野委員、田島委員、町田委員、江口委員、吉田委員

（総合政策課）坂本課長

秘書政策グループ 大谷主幹、齋藤課長補佐、関課長補佐

1 開会

定刻となったため開会を宣した。

2 辞令交付

大谷市長より出席委員に辞令を交付した。

3 市長あいさつ

委員の皆様には、これから1年半に渡り第2次総合計画の策定にご苦勞をおかけするが、ご指導、ご尽力をよろしくお願ひしたい旨あいさつした。

4 審議会委員及び事務局の自己紹介

各委員及び事務局が自己紹介を行った。

5 那須烏山市総合政策審議会会長の互選について（進行：大谷市長）

互選の結果、中村委員が会長となり、就任のあいさつをした。

続いて、中村会長が職務代理者として両方委員を指名した。

（大谷市長退席）

6 協議事項（進行：会長）

会長）本日は、第1回目ということもあり、事務局より配布された資料を説明いただき、各委員の認識を共有するということに重きを置くこととしたい。

（1）那須烏山市第2次総合計画策定方針について

事務局）資料に基づき説明した。

会長）現在の総合計画は10年間の計画となっているが、今回策定する2次総合計画については、人口減少が急速に進行していること、国の施策の変化が早いことなど時代の変容に合わせて5年間の計画としている。また、現在の総合計画において外出しにしていた重点プロジェクトについては、他計画との整合性の問題から第2次総

合計画では外に出さないようにしている。昨年度に策定した総合戦略は、基本指針に反映させていくこととなる。法的には議会の議決要件はなくなったが、今までどおり議決を得る予定としている。具体的な実施計画については、5年で策定していたものを3年とし、毎年毎年見直しを行うこととなるが、本審議会においては実施計画までは策定せず、基本指針の部分、今年度は第1部基本構想、来年度は第2部基本計画を策定することとなる。各委員から質疑等あるか。

～質疑無し～

(2) 那須烏山市の現状について

① まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版について

事務局) 資料に基づき説明した。

会長) 総合戦略については、昨年度本審議会において審議し、今年度から本格実施されている。総合計画には、この総合戦略及び人口ビジョンを盛り込むこととなる。

② 公共施設等総合管理計画(中間報告抜粋)について

事務局) 資料に基づき説明した。

会長) この資料を参考にして、施設統廃合等の優先順位を検討するなど、危機感を持つてある程度の方向性を考えたい。

③ 中長期財政計画(抜粋)について

事務局) 資料に基づき説明した。

会長) この計画については見直し中の事ではあるが、本来であれば本市の人口規模からすると約80億円が標準である。この財政計画では、建設事業については投資的経費として、今後約3億円程度しか充てられない見込みである。今後は、人口に見合った公共施設等の適正配置が必要となる。

会長) ただいま説明いただいた市の現状の3つの事項について、各委員の認識を共有し、第2次総合計画に反映させていくこととしたい。何か質疑はあるか。

委員) 9月議会を傍聴した際に、決算について監査委員から厳しい意見書が出されていたが、この意見書を本審議会委員に提示してもらうことは可能か。また、先日の下野新聞に、道の駅設置に係る会議が開催された旨掲載されていたが、この財政状況等からすると設置が可能かどうか疑問であるがどうか。

事務局) 監査委員の意見書については議会事務局に確認し、可能であれば次回以降の審議会で提示したい。また、道の駅については、構想を検討している段階であり、今後、その必要性や事業費等具体的検討を進めていくこととなる。先程説明した中長期財政計画を見直し、投資的経費を精査した上で、今後検討してまいりたいと考えており、現時点では明確に回答ができない状況である。

委員) 基本方針、基本計画など各論に入っていくこととなると思うが、この財政等の状

況を考慮すると、現在の財政、人口を出来る限り維持するだけの方向付けとなるのではないか。そのため、前向きに市の発展を検討する等の意見が出し難いとする。

会長) 良い方向に持っていきたいとは考える。例えば、財政面から考えて、現存する公共施設の複合化などを検討するといった方向に持っていければと思う。

事務局) 市民にとって明確であり分かりやすい計画ということで、委員の皆さんにはそれらを踏まえてハード・ソフト両面から色々な意見を出していただき、事務局においてこれらをまとめていきたいと考えている。

委員) 道の駅食べ物ゲラブリにおいて、茂木のゆず塩ラーメンが1位となった。先日、茂木の道の駅を訪ねたが、人がいっぱいラーメンの販売所には行列ができていた。一時的なものかもしれないが、テレビのPR効果は大きく、地域の活性化に繋がるのではないか。また、公共施設を今後どうしていくのか、大きな課題であると思う。本庁整備を控えているということで、今後も利用していく既存の施設を絞るなどしていかないとならないと考える。ソフト事業についても優先順位をつけて実施していかなければならないと思う。

事務局) 総合戦略においては、ソフト事業を重点事業として位置づけしている。茂木のゆず塩ラーメンなどは、本市の総合戦略では特産品のブランド化開発事業に当たると思われる。

委員) この審議会においては、今後提示される基本構想、基本計画などの内容について、修正の意見を出しても良いのか。

会長) 基本構想、基本計画については、本審議会において検討、策定して市長に答申するので、意見を出してほしい。

委員) 将来的に人口が現在の半分程度になり、財源も厳しい状況を踏まえると、まずは、職員の半減、各種事務の民間委託、市単独事業の削減等を真剣に検討していかなければならないと思う。

会長) それらについても、構想、計画に反映させていきたいと考える。

委員) 庁舎の統合はできるのか。

事務局) 本市の財政については、行財政改革等を推進してきたが、庁舎の一元化については、様々な要因がありこの10年間進められなかった。庁舎を一元化することにより、職員の削減ができるかもしれない。今後、委員の皆さんと意見交換をして参りたい。

会長) この審議会をそれらの意見交換の場として利用していきたい。

委員) 歳入、歳出予算が小さくなると、魅力あるまちづくりは難しくなると思うが身の丈にあった事業を展開していくしかないと思う。また、自主財源比率が約30%程度である旨を市民にも分かり易くPRしてほしい。

委員) どこの市町村においても、人口減少、財政等同様に厳しい状況であると思うが、より良いまちにできる様、この審議会で議論したいと考える。なお、参考ではあるが、来週、島根県海士町の町長の講演会が開催される。この町は財政が大変厳しかったが、各種の改革に取り組んで建て直しを図った町として、那珂川経友会が視察に行き、町長に来てもらうこととなった。委員の皆さんも、ぜひ出席される様お願い

したい。

会長) 参考になると思われるので、委員の皆さんも都合がつけば参加をお願いします。

委員) 以前茂木町にいたが、那珂川町と環境的には同様であるが様々な努力はしている。

町としても、外部から入る金は無いが、ふるさと納税による収入がかなりの額になっており、参考にしてほしいと思う。農業については、地域循環型を進めており、道の駅法人が出資して農業法人を立ち上げ、大規模化を進めて農業を維持する様努力しており、これらも参考にしてほしい。

会長) 他に質疑があるか。

～質疑無し～

(3) その他

① 総合政策審議会の取組み内容について

事務局) 資料に基づき説明した。

会長) 今年度から来年度まで、10回の審議会を予定している。各委員から何か質疑はあるか。

～質疑無し～

② 総合政策審議会の情報公開について

事務局) 本審議会は原則公開となっているため、傍聴の依頼があった場合には原則許可することとしたい。また、会議録を作成して公表に努めることとなっているため、市ホームページに掲載することとし、名前は公表しないこととしたい。なお、前回までは一字一句すべてを記載した会議録としていたが、今回は詳細なものではなく、ポイントを絞った会議録としたい。

会長) 傍聴については原則許可、会議録については、名前を伏せて、詳細なものではなくポイントを絞ったものとし、公開することとしてよろしいか。

～全員異議なし～

7 その他

① 次回の日程

事務局) 次回は、11月24日(木)9:30からとしたい。後日、開催通知と併せて資料を事前に送付する。

8 閉会

会長) その他特になければ、終了する。 午後4時05分終了